RPP自動最適化機能の概要



RPP自動最適化機能が7/14にリリースされました。一番大きな違いはこれまで一律のCPCで配信されていたキャンペーン・商品CPCが上限CPCの設定を行い、配信面に応じてCPCの自動調整が行われることになった点です。

予算配分/適用CPCの仕様変更

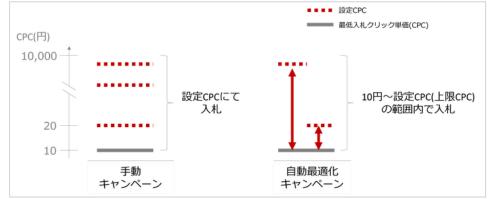
広告掲載面/日時/人などに応じて予算配分やCPCを最適化



クリック単価の仕様変更

キャンペーンCPC、商品CPCについて、上限CPCを設定する仕様に変更。キーワードCPCは変更なし。





RPP自動最適化検証ー検証の背景・前提



弊社では運営代行とECPROというRPP自動調整システムを提供しているため、いち早く仕様を正確に把握する必要があり、検証を 実施いたしました。

背景

- RPP自動最適化機能が7/14にリリースされ、 これまで一律のCPCで配信されていたキャンペーン・ 商品CPCが上限CPCの設定を行い、配信面に応じ てCPCの自動調整が行われることになった
- プロテーナムとして、ECコンサルティングおよび運営代行、ECPRO(RPP自動調整システム)の提供を行っているため、いち早く自動最適化機能の仕様を把握する必要があった
- ・売上アップに非常に大きな影響があると考えられるため、楽天市場関係者に正確な情報をシェアし、対応を周知しようと考えた

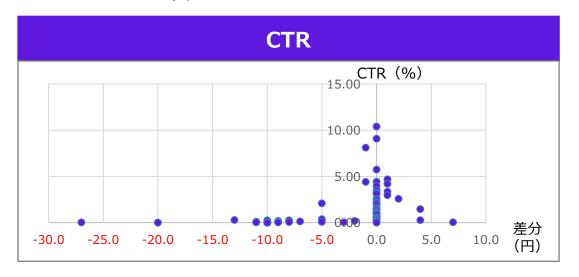
前提

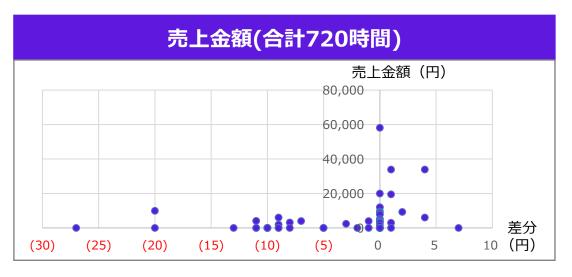
- ・検証内容:
 - ▶ 対象期間: 7/20-24
 - ➤ 検証方法:「商品CPC-CPC実績」の差分を 取り、その他項目との相関関係を調査
- ・対象データ:
 - ▶ 対象実績:商品別実績からキーワード実績を 除いた実績が対象
 - ➤ 対象商品:検証期間中、商品CPCの変更が されていない商品を抽出
 - ▶ 対象データ数: サンプル71商品

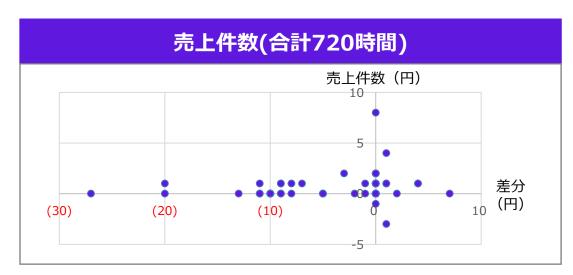
RPP自動最適化検証-検証結果

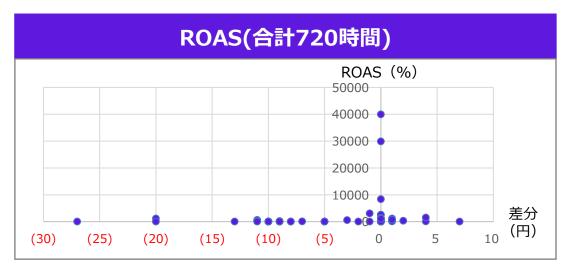


「商品CPC-CPC実績」の差分を取り、その他項目との相関関係を調査し、中でも主な指標を抽出しました。それぞれ数字が低いほど上限CPCからの乖離が大きい、つまりCPCが低く設定されていることがわかります。





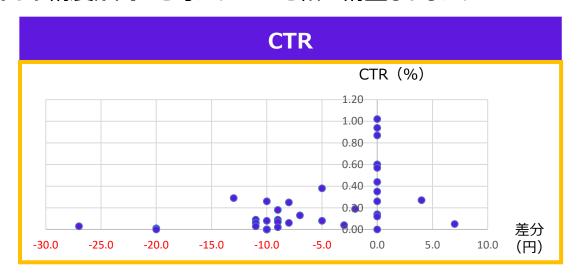


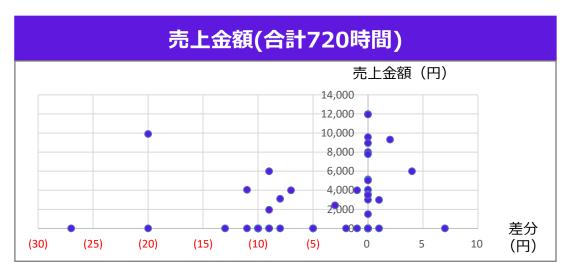


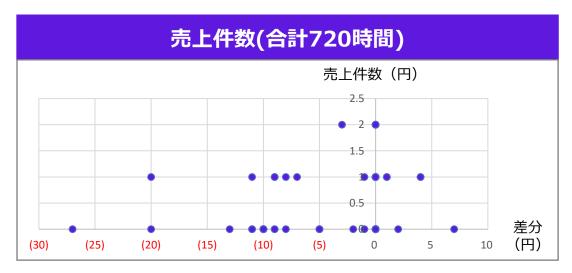
RPP自動最適化検証ー検証結果(外れ値除去)

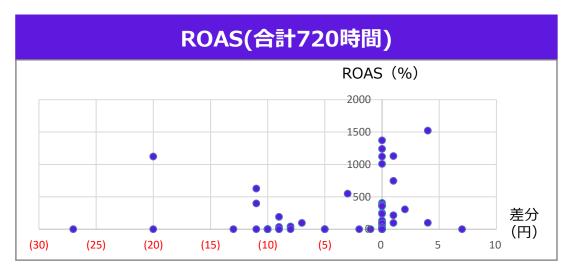


外れ値を除去した場合です。CTR、売上金額(合計720時間)に一定の相関があるように見えますが、過去のデータからCTRのほうがより精度が高いと考え、CTRを軸に精査しました。









(参考)RPP自動最適化検証ー表での検証



CPCが上限CPCに対して、マイナスとなっているケースでは、**ほとんどがCTRが0.5%より低い**ことがわかります。またCPCが上限CPCに対してマイナスしているデータのなかでの**マイナス要因の占率からCTRのほうがより重視されている**と考えられます。

		サマリ		一覧表
	CPC マイナス	CPCマイナス時 の売上低	占率	差分 0 -1 0 1 0 -1 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0
CTR	28	20	71.4%	差分 0 -13 4 0 -10 -8 -2 -9 0 -7 -9 -11 -5 -10 -9 -8 -11 7 -3 -11 -27 -9 -20 0 -10 -10 -10 -10 -10 -10 -20 CTR 0.35 0.29 0.27 0.26 0.25 0.19 0.18 0.14 0.13 0.09 0.09 0.08 0.08 0.07 0.06 0.05 0.04 0.03 0.03 0.02 0.01 0 0 0 0 0 0 0 0 0
売上金	CPC マイナス	CPCマイナス時 のCTR低	占率	差分 0 4 1 0 1 0 0 -20 0 2 0 0 0 -9 4 0 0 0 -11 -1 -7 0 0 -8 0 1 -3 -9 0 7 1 売上 ## ## ## ## ## ## ## 9,90 9,55 9,31 8,93 7,99 7,77 5,99 5,99 5,12 5,03 4,03 4,03 3,99 3,99 3,56 3,48 3,11 2,99 2,98 2,41 1,94 1,48 0 0 9 0 7 4 8 0 0 9 0 7 4 8 0 0 9 0 7 7 4 8 0 0 0 9 0 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
額(合計 720時 間)	29	26	89.6%	差分 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
売上件	CPC マイナス	CPCマイナス時 のCTR低	占率	差分 0 1 0 0 0 0 0 -3 4 4 1 1 0 0 0 0 0 0 0 -1 -7 -8 -9 -9 -11 -20 7 2 0 売上 8 4 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
数(合計 720時 間)	29	26	89.6%	差分 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
ROAS	CPC マイナス	CPCマイナス時 のCTR低	占率	差分 0 0 0 -1 4 0 0 1 -20 0 0 1 -11 -3 0 -11 0 0 0 2 0 0 1 -9 0 0 4 -7 1 0 0 ROAS 39960 ## 838 303 152 137 124 113 112 112 100 747 627 549 407 400 376 366 358 306 253 239 217 191 134 109 101 97.8 96.1 91.1 70.2
(合計 720時 間)	29	26	89.6%	差分 -8 -9 0 0 7 0 0 0 0 0 0 0 1 -2 -5 -5 -5 -8 -9 -9 -10 -10 -10 -10 -10 -10 -10 -11 -13 -20 -27 ROAS 43 36.7 32.5 16.7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

RPP自動最適化検証ーCTRの閾値

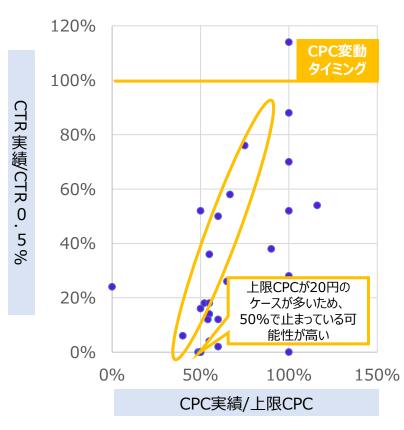


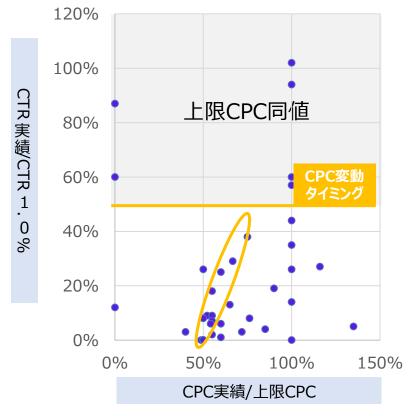
CTRがどのぐらいの数値だと上限CPCに対し、マイナスされるのか検証しました。0.5%が一つの基準になっている可能性が高いことがわかります。閾値を超える場合はほぼすべて上限CPCで入札されています。

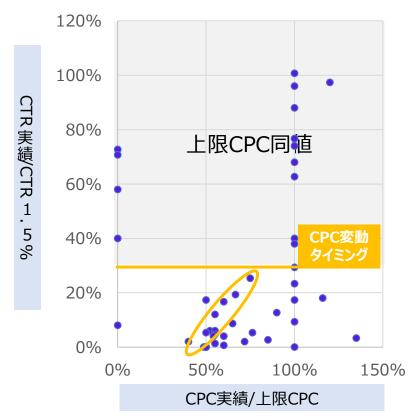
閾値:CTR=0.5%

閾値:CTR=1.0%

閾値:CTR=1.5%







RPP自動最適化検証ー検証からの示唆



これまでのROASとCPCの関係に加え、**上限CPCとCPC実績の差分を考慮した対策が必要**になってきます。より複雑な構造になってきていますが、根本となる考え方は変わらないので、落ちついて対策をしていきましょう。

検証結果からの考察





• 設定している上限CPCとCPC実績の差分の検証が必要

- まずは商品のROASが想定している数値に対し、高いのか、低いのかを確認
- CPCが上限CPCより高いのか、低いのか確認

設定CPC 調整

- ROASの想定値に対する調整は変わらない
- ただ上限CPCとCPC実績の差分を考慮する必要がある

- ROASが想定値より高く、上限CPCでCPC実績が出ている場合⇒上限CPCを引き上げ
- ROASが想定値より低く、上限CPCでCPC実績が出ている場合⇒上限CPCを引き下げ
- ROASが想定値より高く、上限CPCでCPC実績が出ていない場合⇒サムネイルなど改善
- ROASが想定値より低く、上限CPCでCPC実績が出ていない場合⇒上限CPCを引き下げ、サムネイルなど改善

サムネイ ル・ページ などの改 善

- 対策内容はこれまで通りだが、ROASが高いが、CTRが低い商品の対応優先度が最重要となった。(CTRが低いと上限CPCを引き上げても表示回数引き上げに限界があるため)
- ROASが想定値より高く、CTRが低い(0.5%以下?)の場合は、サムネイルなど検索結果一覧に表示される内容を改善することでCTR改善
- ROASが想定値より低く、CTRが高い(0.5%以上?)の場合は、商品ページを改善することでCVR改善